

平成28年度 福島区社会福祉協議会 事業報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

法人運営では、平成29年4月より施行される改正社会福祉法に向けて、新定款の策定や評議員選任・解任委員会等を開催し、体制等の整備を行った。

また、福島区地域包括支援センター並びに福島区子ども・子育てプラザの指定管理制度における公募に応募し、平成29年度より引き続き受託することができた。

1. 会 議

| | | |
|-------|--------|----------------------|
| 平成28年 | 5月16日 | 監事による会計監査 |
| | 5月20日 | ボランティア・市民活動センター運営委員会 |
| | 5月30日 | 理事会・評議員会 |
| | 5月30日 | 地区・校下社協会長会 |
| | 5月30日 | 地域ネットワーク委員長会 |
| | 5月30日 | 善意銀行運営委員会 |
| | 6月28日 | ボランティア・市民活動センター運営委員会 |
| | 10月6日 | 福祉基金(植本基金、小林基金)運営委員会 |
| | 10月31日 | 地区・校下社協会長会 |
| | 10月31日 | 地域ネットワーク委員長会 |
| | 12月26日 | 理事会・評議員会 |
| | 12月26日 | 地区・校下社協会長会 |
| | 12月26日 | 地域ネットワーク委員長会 |
| | 平成29年 | 3月7日 |
| 3月14日 | | ボランティア・市民活動センター運営委員会 |
| 3月29日 | | 理事会・評議員会 |
| 3月29日 | | 地区・校下社協会長会 |
| 3月29日 | | 地域ネットワーク委員会 |

2. 事業概要

(1) 会員の募集

- ①基本会員(役員・組織構成会員) : 81人
- ②賛助会員(個人): 344人 ・ (団体): 29団体

(2) 地域福祉活動推進支援

①地区・校下社協活動等への支援

地域の高齢者や障がい者、児童など誰もが地域で安心して生活できるよう地域住民の参加と協力による支えあい、助けあい活動を小地域で実施する事業の推進のための支援。

ア 地区・校下社協会長会の開催(全4回)

イ 地域ネットワーク委員長会の開催(全4回)

ウ 子育てサロン連絡会の実施

第1回 : 平成28年9月30日(金)

第2回 : 平成28年11月29日(火)

エ コミュニティサロン連絡会の開催(全6回)

オ 地域福祉コーディネーター連絡会の参画(全13回)

カ キャラバン・メイト連絡会の開催(全4回)

キ 福島区地域福祉シンポジウムの参画

開催日 : 平成28年11月12日(土)

講師 : 大阪府立大学 教授 小野 達也 氏

参加人数 : 180名

ク 地域福祉推進講演会の参画

開催日 : 平成29年2月25日(土)

ケ 小地域福祉活動リーダー研修会の開催

開催日 : 平成29年1月18日(水)

内容 : 『もしかして認知症？わたしは大丈夫…』

講 師 : 大阪市立弘済院附属病院 副病院長 中西 亜紀 氏

コ 地域福祉活動カレンダーの作製 4,000部

サ 地域子育て応援マップの作製 5,000部

シ 子育て情報紙「フッピーキッズ」28号、29号、30号の発行支援

②地域福祉推進への参画・推進

ア 地域福祉ビジョン策定委員会への参画(全2回)

イ あいあい音楽カフェの開催(全12回)

③地域支援システムの推進・参画

ア 高齢者支援部会の開催(全4回)

イ 高齢者虐待防止連絡会議の参画(1回)

ウ 自立支援協議会の参画(5回)

エ 障がい者虐待防止連絡会議の参画(1回)

オ 子育て支援専門部会の参画(1回)

カ 子育て支援連絡会の参画(2回)

キ 要保護対策協議会の参画(1回)

ク 支援調整会議の参画(14回)

(3)福島区社会福祉施設連絡会の運営

①連絡会の開催(全3回)

②福祉イベント『第15回あいあいまつり』(福島区民センター)への参加

開催日 : 平成29年2月11日(土)

内 容 : 施設紹介コーナーの設置

[ステージ] みんなでおどろう『エビカニクス』『PPAP ピコ太郎』、

脳トレ体操、福島〇×クイズ

③社会福祉施設連絡会職員向け研修会の実施

開催日：平成28年11月2日

内容：『レクリエーション講習会』

講師：金太郎デイサービスセンター 施設長 尾山 誠吾 氏

開催日：平成28年11月30日

内容：『災害時における各施設での対応について』

『熊本市災害ボランティアセンター職員派遣報告について』

講師：大阪市危機管理室 島津 雅子 氏

福島区ボランティア・市民活動センター 三浦 宏次

(4)地域における要援護者の見守り支援ネットワーク強化事業

平成27年4月より「見守り相談室」をあいあいセンターに設置。地域と行政が要援護者の情報を共有することで、孤立死の予防や災害時の避難支援、また認知症高齢者等の行方不明時の早期発見を図る。

機能①要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備

同意書を対象者に郵送または調査員の訪問により同意確認を行なった。

- 対象：① 65歳以上高齢者で要介護3以上の方または要介護2以下で日常生活自立度Ⅱ以上の方、区要援護者名簿登録者
② 身体障がい1・2級の方

ア 同意確認書の郵送(再発送含む)

| | | |
|------|-------|--------|
| 第1回目 | 8月29日 | 1,351人 |
| 第2回目 | 3月9日 | 744人 |
| 合計 | | 2,095人 |

イ 返信 1,047人 (返信率 50.2%)

同意：736人 不同意：311人

ウ 訪問 495人 (回答率 20.6%)

同意 : 55人 不同意 : 47人

エ 地域へ要援護者名簿の提供 平成29年1月17日発行

提供先:各地域の地域振興会、民生委員、女性会

機能②孤立世帯への専門的対応

ア 相談実人員 161人

男性 : 71人 女性 : 89人 不明 : 1人

イ ひきこもり親の会「しまりす会」開催

毎月第2土曜日 全11回 参加者数 延41人

ウ ペアレントトレーニング講座開催

6月～10月 第2土曜日 全5回 延76人

エ 子育て・発達・教育・相談

1月～2月 全4日 各日5回(1回50分) 参加者 13人

機能③認知症高齢者等の行方不明時の早期発見

ア 発見協力者 民生委員88人 各種団体 60団体

イ 事前登録者 12人(男性:4人 女性:8人)

ウ 行方不明発見依頼 8件 ※いずれも無事に発見保護

(5) 広報・啓発活動の推進

①機関紙「福島区社協あいあいだより」の発行

第68号 タブloid版 4面(平成28年4月発行)

第69号 タブloid版 4面(平成28年8月発行)

第70号 タブloid版 4面(平成28年12月発行)

*新聞折込による各戸配布 各26,000部発行

②子育て情報誌の発信

ア 子育て情報紙『フッピーキッズ』の発行支援(年3回)

イ 地域子育て応援マップの作製・発行(5,000部)

③インターネットや回覧等による情報提供

- ア 区社協ホームページで区社協事業や福祉・ボランティア活動に関する情報提供
- イ 区社協フェイスブックによる情報発信(124回)
- ウ あいあいまつり、ボランティア養成講座等のチラシ・ポスターの掲示、回覧

④その他

- ア 福島区コミュニティサロンリーフレットの発行(2,000部)
- イ 区民まつり・あいあいまつりでの区社協パンフレットの配布(各1,000部)
- ウ 区社協事業広報うちわの作成(2,000枚)

(6)ふれあいイベントの開催

①第15回あいあいまつりの開催

区内の社会福祉施設、ボランティア、地域活動協議会などによる日頃の活動紹介・交流や福祉について啓発を行なった。

開催日：平成29年2月11日(土)

開催場所：福島区民センター

参加人数：約1,200人

(7)福島区ボランティア・市民活動センターの運営

①情報の収集・発信(啓発・広報)

福島区社協だより、福島区広報『ふくしま』、ボランティア活動情報誌『COMVO』等にボランティア・市民活動センターおよび登録グループに関連する記事の掲載を依頼・提供を行なった。

広報ふくしま掲載件数:12件

広報掲載内容:ボランティア講座受講生募集・イベントの周知・ボランティア活動者募集・助成金周知等

②事業企画

障がい児スポーツ・レクリエーションひろば

開催日：平成29年3月28日(火)

開催場所：福島区民センター

参加人数：44人

③ネットワークの構築

ア ボランティア・市民活動団体連絡会(全2回)

イ 個人ボランティア連絡会及び交流会(全1回)

ウ 福島区サロン連絡会(全6回)

エ 「おおさか・ふくしま・車座談義」の参画(2回)

オ ふくしま未来塾の参画(3回)

カ 企業・NPO交流会 in Fukushima

開催日：平成28年10月12日(水)

開催場所：福島区役所6階

参加人数：13団体21名

④活動への支援

ア 福島区内で活動している福祉に関するボランティアグループ・団体に対して、助成金を交付し活動を支援

○福島区社協ボランティアグループ活動助成金の交付(7団体245,000円助成)

○福祉ボランティア活動応援資金(5団体180,000円)

イ ボランティアグループへ場所・備品(印刷機、紙折り機、拡大機)等の提供

○会議、練習等活動のための部屋の利用(16団体利用)

○印刷機等活動に必要な資料等作成のため使用(38団体利用)

⑤福祉教育・研修の推進

| 開催日 | 内容・場所 | 参加人数 |
|--------|---|------|
| 6月9日 | 福島小学校 6年生 「障がいについて講話・車いすの操作説明・車いす体験」 | 45 |
| 6月10日 | 福島小学校 2年生 「発達障がいについて」【1クラスずつ2回実施】 | 43 |
| 8月27日 | 下福島中学校 1年生 「高齢者疑似体験・車いす体験・アイマスク体験」 | 209 |
| 9月24日 | 玉川小学校 2年生 「発達障がいについて」防災紙芝居実施 | 91 |
| 10月15日 | 野田中学校 1年生 「高齢者疑似体験・車いす体験・アイマスク体験」 | 113 |
| 11月22日 | オムロンソーシャルソリューションズ株式会社 「講義：社協・ボランティアについて、高齢者疑似体験、車いす体験」 | 5 |
| 1月17日 | 福島小学校 5年生 「聴覚障がいについて、当事者講話、手話・体験学習」 | 31 |
| 2月6日 | 八阪中学校 1年生 「当事者講話・車いすの操作方法・視覚障がい者への手引きの方法」 | 125 |
| 2月14日 | 海老江東小学校 4年生 「当事者講話・高齢者疑似体験・車いす体験・アイマスク体験」 | 71 |
| 2月15日 | 八阪中学校 1年生 「高齢者疑似体験・車いす体験・アイマスク体験」 | 125 |
| 2月23日 | 阪神電気鉄道株式会社 「高齢者疑似体験・車いす体験・アイマスク体験」 【午前・午後2回実施】 | 26 |

| | | |
|-------|---|----|
| 3月10日 | 福島小学校 3年生 「目が見えない・見えにくいってどんな感じ？講話・アイマスク体験」 | 56 |
| 3月15日 | みずほ銀行西野田支店 「認知症サポーター養成講座」 | 25 |

認知症サポーター養成講座

| 開催日 | 対 象 | 参加人数 |
|-----------|---------------|------|
| 7月14日(木) | 区内在住・在勤者 | 25 |
| 7月30日(土) | 小学生とその保護者 | 13 |
| 8月31日(水) | 介護予防ポイント事業登録者 | 14 |
| 11月24日(木) | 区内在住・在勤者 | 27 |
| 11月28日(月) | 知っとく健康塾受講者 | 20 |
| 3月11日(土) | 区内在住・在勤者 | 8 |
| 3月15日(水) | 銀行員 | 25 |

⑥ ボランティア活動支援(492件)

| 活動登録・需給調整 | 相談・問合せ 対応 | グループ等への 支援 | ボランティア の養成 | 福祉教育 の推進 |
|-----------|--------------|---------------|---------------|-------------|
| 380件 | 49件 | 95件 | 30件 | 33件 |

⑦ ボランティア活動の紹介

ア 個人・団体登録状況

| | 平成27年度末 | 平成28年度末 |
|--------|---------|---------|
| 個人登録者数 | 58人 | 63人 |
| 団体登録数 | 52団体 | 55団体 |

イ ボランティア活動回数 3,047件

ウ ボランティア活動延人数 10,282人

⑧ ボランティアの養成・育成

| 養成講座名 | 開催数 | 参加者(延べ) |
|----------------------|-----|---------|
| 音楽ふれあいボランティアスキルアップ研修 | 3回 | 40人 |
| 傾聴ボランティアフォローアップ研修 | 2回 | 14人 |
| 傾聴ボランティア養成講座 | 3回 | 72人 |
| 精神保健福祉ボランティア養成講座 | 4回 | 78人 |
| おもちゃドクター養成講座 | 3回 | 36人 |
| 災害ボランティア養成講座 | 5回 | 48人 |
| 福島区サロン講座 | 1回 | 22人 |
| 傾聴ボランティア懇談会 | 3回 | 11人 |

⑨ ボランティア総合保障制度(ボランティア保険)受付業務

個人ボランティアおよび諸団体・グループのボランティア活動を対象にボランティア活動中の予測しえない事故を補償する『ボランティア活動保険』および、行事中の事故に対応する『ボランティア・市民活動行事保険』等への加入を促し、その受付業務を行なった。

| | | | |
|-----------------|---------|--------|---------|
| ボランティア活動保険 | Aプラン | 95件 | 667人 |
| | Bプラン | 22件 | 157人 |
| | Cプラン | 29件 | 253人 |
| ボランティア・市民活動行事保険 | A区分 | 333件 | 10,598人 |
| | B区分 | 0件 | 0人 |
| | C区分 | 1件 | 100人 |
| | 宿泊:1泊2日 | 1件 | 37人 |
| 非営利・有償活動団体保険 | | 5件 | 28人 |
| 移送中事故傷害保険 | | 受け付けなし | |

⑩災害ボランティアセンターに関する業務

ア 訓練に向けたワークショップ(全2回)

イ 訓練に向けた事前協議(4回)

ウ 災害ボランティア養成講座(全5回)

エ 災害対策本部設置、無線通信訓練

実施日：平成28年8月9日(火)

オ MCA無線通信訓練

実施日：平成28年9月1日(木)

カ 企業・NPO交流会 in Fukushima

開催日：平成28年10月12日(水)

内容：企業の災害時活動報告、ワークショップ

参加人数：13団体21名

キ 避難所一泊体験

開催日：平成28年12月17日(土)～18日(日)

内容：防災まち歩き、居住スペース作り、災害食作り、
避難所運営ゲーム等の実施

参加人数：11名

ク 区社協災害対策本部・災害ボランティアセンター設置、福祉避難所開設
訓練の実施

実施日：平成29年1月21日(土)

参加人数：65名

ケ 訓練ふりかえり会議(1回)

コ 災害用品の購入(備品及び備蓄用品)

(8)生活困窮者自立相談支援事業

平成27年4月1日から大阪市より受託し、福島区役所3階に、「生活あんしん相談窓口(生活自立支援相談窓口)」を開設。新たに平成28年4月1日から2年間(平成30年3月31日まで)受託し、相談・支援を行っている。

①新規相談受付件数(本人特定、本人同意なしを含む)・・・172件

(内、本人特定・本人同意ありの「新規相談申込件数」は162件)

ア 新規相談申込件数(性別)

男性;86件 女性;76件 計162件

イ 新規相談申込件数(年代別)

～10歳代 4件

20歳代 18件

30歳代 21件

40歳代 17件

50歳代 28件

60～64歳 10件

65歳代～ 55件

不明 9件 計162件

ウ 対応・方針結果(※前年度からの継続件数を含む)

情報提供・相談対応のみで終了 85件

他制度・他機関等へのつなぎ 47件

本人未同意、同意に向けて取り組む 2件

継続支援し、プラン策定 28件

スクリーニング判断前に中断・終了 3件 計165件

(9)地域の福祉活動サポート事業及びふくしま暮らし支え合い

システム事業

①地域の福祉活動サポート事業

平成28年度より、各地域のコミュニティセンターや福祉センターに相談窓口「みんなの相談室」を設け、地域事情に詳しい人材を「地域福祉コーディネーター」として配置。相談や情報提供、地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業の推進等に取り組んだ。

また、毎月1回事務連絡会を定例開催し、情報交換の他に研修を実施し、資質向上を図った。

ア みんなの相談室 開室日時等

| 地域名 | 開設場所 | 開室日 | 開室時間 |
|------|----------------|-------------------|-------------|
| 上福島 | 上福島コミュニティセンター | 月・火・水・木・金 | 9:00-12:00 |
| 福島 | 福島コミュニティセンター | 火・木・金 | 11:00-16:00 |
| 玉川 | 玉川コミュニティセンター | 月・木・金 | 10:00-16:00 |
| 野田 | 野田コミュニティセンター | 月・火・木(第1・3・5)・金 | 13:00-16:00 |
| | | 木(第2・4) | 9:00-16:00 |
| 吉野 | 吉野コミュニティセンター | 月・火・水・木・金 | 13:00-16:00 |
| 新家 | 新家コミュニティセンター | 月・火・木 | 10:00-16:00 |
| 大開 | 大開福祉センター | 月・火・水(第1・3・5)・木・金 | 9:00-12:00 |
| | | 水(第2・4) | 13:00-16:00 |
| 鷺洲 | 鷺洲コミュニティセンター | 火・水・木・金 | 9:30-13:00 |
| | | 土(第1) | 12:00-16:00 |
| 海老江東 | 海老江東コミュニティセンター | 月・火・水・木・金 | 9:00-12:00 |
| 海老江西 | 海老江西コミュニティセンター | 月・木・金 | 9:00-12:00 |
| | | 火 | 9:00-17:00 |

イ 地域福祉コーディネーター事務連絡会 実施内容

| | 開催日 | 主な内容 |
|---|----------|---|
| 1 | 4月1日(金) | ○コーディネーター業務の説明など |
| 2 | 4月22日(金) | 研修Ⅰ;福島区社会福祉協議会の事業等について 報告:山元智美(福島区社協) 研修Ⅱ;接遇の基本について 報告:河元義和(福島区社協) |

| | | |
|----|-----------|---|
| 3 | 5月13日(金) | ○「みんなの相談室」看板デザインの決定 ○学びたい研修テーマについて(意見交換) |
| 4 | 6月10日(金) | 研修;高齢社会での暮らしと地域活動 講師:竹村安子(大阪市立大学非常勤講師) |
| 5 | 7月8日(金) | 研修;地震発生後の支援活動について ～熊本地震の支援活動から～ 報告:山元智美、三浦宏次(福島区社協) |
| 6 | 8月5日(金) | 研修;大阪市生活困窮者自立相談支援事業につ いて～福島区生活あんしん相談窓口から 報告:白方眞由美(福島区保健福祉課担当係長) 柴田美沙子(主任相談員) |
| 7 | 9月9日(金) | 研修;認知症の早期発見・早期対応のポイント 報告:福川智子(福島区社協) |
| 8 | 10月14日(金) | 研修;個人情報保護について 講師:中島康之(社会保険労務士法人NSR 代表社員) |
| 9 | 11月11日(金) | グループワーク「見守り活動における効果的な情報提 供について」 |
| 10 | 12月9日(金) | 研修「車いす操作・介助の基本、視覚障がい者の 手引きの基本」 講師:三浦宏次(福島区社協)他 |
| 11 | 1月13日(金) | 研修「成年後見制度について」 講師:伊関玉恵(大阪市成年後見支援センター 所長) |
| 12 | 2月10日(金) | 研修「地域社会から消費者被害をなくそう」 講師:染川美千代(大阪市消費者センター 消費生活専門相談員) |
| 13 | 3月10日(金) | 研修「介護保険制度の改正と介護予防・日常生活 支援総合事業」 講師:本谷琴枝(福島区保健福祉課担当係長) |

ウ 地域福祉コーディネーター研修会運営協力・受講一覧

| | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 11月12日(土) | 地域福祉シンポジウム 「住み続けられる地域づくりをめざして ～増進型の地域福祉～」 |
| 2 | 1月18日(水) | 福島区区民講座 「気になる『もの忘れ』『認知症』のことを学びませんか？」 |
| 3 | 2月25日(土) | 地域福祉講演会「ずっと住みなれた地域で暮らしたい」 |

エ 相談・安否確認・見守り把握など

(ア)相談ならびに安否確認を含む件数

訪問・・・ 433件

来館・・・ 3,704件

電話・・・ 782件

(イ)見守り・状況把握(地域関係者からの見守り状況報告者数を含む)

延べ 9,571人(平成28年10月15日～平成29年3月31日)

②ふくしま暮らし支え合いシステム事業

公的サービスの対象とならない軽微なニーズに対して、地域住民の中から、有償ボランティア(サポーター)を募り援助する本事業について、平成28年度より福島区社会福祉協議会が受託し運営を行った。

ア 利用者・サポーター登録数

| 利用者登録者数 | | | サポーター登録者数 | | |
|---------|------|------|-----------|-----|-----|
| 男性 | 女性 | 計 | 男性 | 女性 | 計 |
| 55人 | 216人 | 271人 | 21人 | 53人 | 74人 |

※平成28年4月末現在と比較して

・利用者登録者数は、男性21人増、女性59人増、計80人増

・サポーター登録者数は、男性3人増、女性13人増、計16人増

イ マッチング数

合計1,145件(男性依頼者401件、女性依頼者744件)

(10)障がい者福祉に関する事業

- ①点字本・点訳絵本の作成と貸出・贈呈
- ②福島区広報ふくしまの音読テープ作成と貸し出し

(11)地域福祉に関する事業

①車椅子貸出事業

区内在住・在勤の方対象に、車椅子の貸し出し(2週間)を実施

保有台数 18台(区社協に保有)

区社協貸出し件数 105件

②スロープ貸出事業

区内在住・在勤の方を対象に、貸し出し(短期間:2週間程度)を実施

保有台数 6台 貸出し件数 0件

③福祉用具貸出事業の実施

高齢者疑似体験セット・アイマスク・車いす・車いす用スロープ

貸出し件数 3件 240人利用

(12)高齢者福祉に関する事業

高齢者敬重訪問

平成28年度中に満100歳を迎える高齢者に、記念品を贈呈し、区社協会長・区長による訪問を実施

実施日 : 平成28年9月30日(金) 対象者数 : 5人

(13)青少年福祉に関する事業

- ①青少年関係団体への助成
- ②『成人の日記念のつどい』への助成（平成29年1月9日）

(14)善意銀行の運営

- ①助成金に対する払い出し 5件
- ②歳末助け合い運動に対する払出し 6件
- ③各種行事等に対する払出し 1件
- ④コミュニティサロン開設に対する払出し 1件

(15)福祉基金(植本基金・小林基金)の運営

助成事業(植本基金・小林基金)の実施

助成件数：植本基金 11件(530,000円)

小林基金 2件(100,000円)

(16)熊本地震における熊本市災害ボランティアセンター職員派遣

平成28年4月14日等に発生した熊本地震に対し、近畿ブロック社協並びに大阪市社協の要請を受け、区社協職員2名を、熊本市災害ボランティアセンターに派遣し、運営支援を行った。

派遣日程：5月30日(月)～6月3日(金)[第9クール] 1名

6月11日(土)～6月15日(水)[第11クール] 1名

(17)その他

①日赤社資事務への協力

②大阪府共同募金会事務への協力

実施期間：平成28年10月1日～平成29年3月31日

内容：街頭募金活動への協力、助成金配分申請・内容の周知

③大阪府生活福祉資金(申込窓口)への協力

ア 緊急小口資金

電話対応・・・122件

面談回数・・・ 38回

申込み5件(うち、受理3件、不受理2件)

イ 福祉費

電話対応・・・64件

面談回数・・・18回

申込み4件(うち、受理3件、不受理1件)

ウ 総合支援資金

電話対応・・・16件

面談回数・・・12回

申込み1件(うち、受理1件)

エ 教育支援資金

電話対応・・・36件

面談回数・・・17回

申込み3件(うち、受理2件、不受理1件)

オ 臨時特例つなぎ資金

電話対応・・・4件

面談回数・・・1回

申込み1件(うち、受理1件)

④その他

ア 福島区民まつりへの参加

開催日：平成28年10月29日(土)

内容：区社協広報活動、手作りおもちゃ広場、バルーンアート

イ 大阪市社会福祉大会への参加

開催日：平成28年11月21日(月)

3. 公益事業・介護保険事業・指定管理運営事業

(1)地域包括支援センター運営事業

①総合相談支援

様々な相談に的確に対応できるよう、福祉・保健・医療等関係機関と連携し、本人・家族・近隣住民・地域等からの相談に対応。また、下福島・野田在宅サービスステーションに総合相談窓口を委託し、各地域の相談に対応。

| 相談機関 | 延べ相談件数 |
|----------------------|--------|
| 地域包括支援センター | 3,117件 |
| 在宅サービスステーション(下福島・野田) | 1,464件 |

②権利擁護・高齢者虐待予防への取り組み

- ア 総合相談の対応の中で、権利擁護の観点から、保健福祉センターや各種関係機関と連携をとりながら、成年後見制度活用の支援
- イ 認知症や虐待の疑いのある要支援者に対して関係機関と協力して対応
- ウ 関係機関、地域住民に対して、虐待予防・消費者被害等の勉強会を開催

③予防給付に関するマネジメント

要支援1・2の要支援認定者や家族の希望、生活機能等の把握、課題の分析を行い、介護予防サービス計画を作成し地域での生活を支援。

平成29年3月末現在 福島区の介護度別認定者数

| 介護度 | 認定者数(人) | 備考 |
|------|---------|----|
| 要支援1 | 676 | |
| 要支援2 | 581 | |
| 要介護1 | 475 | |
| 要介護2 | 506 | |
| 要介護3 | 325 | |

| | | |
|------|-------|---|
| 要介護4 | 371 | |
| 要介護5 | 264 | |
| 総 数 | 3,201 | うち、要支援1・2ケアプラン作成 月平均 746件 (包括支援センターで作成102件) |

④介護予防に関するマネジメント

介護予防健診や二次予防高齢者のための講演会などの啓発活動から把握した二次予防高齢者に、本人の希望把握や地域資源の紹介を行いながら、介護予防事業の利用について支援。

⑤包括的・継続的ケアマネジメント支援

ア 地域ケア会議

地域支援に関わる関係機関が支援の必要な高齢者を対象に、その人らしく地域で生活していけるよう効果的なサービスの総合調整を行い、地域支援システムとの連携を図った。(21回開催)

イ 総合相談窓口連絡会議

地域の相談窓口である阪神長楽苑(下福島地域)、福島ともしび苑(野田地域)と定期的に連絡会を開催し、地域の相談状況や介護予防啓発等の情報交換を実施。(7回開催)

ウ 地域における居宅介護支援事業所の後方支援

○福島区内で業務を行う、ケアマネジャーの支援のため、相互の情報交換、研修会等を開催(12回開催)

○日常的に処遇困難な事例に関するケアマネジャーへの個別支援

⑥関係機関のネットワークの形成

ア 区内、近隣区の事業所の相互の情報交換・資質の向上をめざし、住民にとってよりよいサービスをめざし、各種連絡会を開催。

○福島区ホームヘルパー連絡会(5回開催)

○通所事業者連絡会 (5回開催)

○医療機関相談員等連絡会 (4回開催)

○訪問看護事業所連絡会 (4回開催)

○介護ホーム連絡会 (4回開催)

イ 認知症理解も含めた医療と介護と地域との連携

それぞれが認知症に対しての理解を深めるとともに、地域での関係機関の連携強化をめざして、シンポジウム、勉強会を実施

ウ 3師会、介護事業所等と連携し「福島区在宅医療を考える会」を開催。

エ 在宅医療を考える会 世話人会(8回開催)

オ 在宅医療を考える会

| 開催日 | 内 容 | 参加人数(人) |
|--------|---|---------|
| 6月19日 | 「診療報酬改定説明会」 ・医師、歯科医師、薬剤師、介護それぞれの立場から一人の高齢者モデルを想定して、説明を行い、情報交換を行った。 | 97 |
| 7月29日 | 勉強会「在宅でみかけるスキントラブル」 JCHO大阪病院 池上隆太 先生 | 105 |
| 9月18日 | 事例検討『認知症の進行、在宅の限界と地域の間で』 ・多職種によるグループワークと意見交換 | 57 |
| 11月16日 | 研修会「接遇向上研修～コミュニケーションの重要性」 清水純代 先生 | 81 |
| 1月18日 | 区民講座「もしかして認知症？私は大丈夫・・・」 大阪市立弘済院附属病院 中西亜紀 先生 | 223 |

カ 健康展の開催

健康展準備委員会(4回)

健康展 10月15日(土) (511人参加)

～世代を超えた健康づくり～

⑦生活支援型食事サービス運営委員会の開催

在宅高齢者等の自立した生活の確保を図る事を目的とする、生活支援型食事サービスを円滑にすすめるため、事業所や地域・行政と運営会議を開催し、利用調整、情報交換を実施。(12回開催)

⑧介護・保健福祉サービスの広報・啓発

地域包括支援センター、総合相談窓口の周知案内チラシ、相談窓口や介護事業所、医療機関をわかりやすくまとめた、「かいご・福祉情報誌」を作成。介護サービスの利用や相談のできる窓口を広報・啓発・周知した。

⑨出張相談会の実施

- ア 介護保険やその他の相談に関して、各地域コミュニティセンターや集会所などに出向き相談を受け付けた(10地域月1回)
- イ 複合した相談等にも対応できるよう、ボランティア・市民活動センター、自立支援協議会とも連携し、区役所1階にて出張相談会を開催。(月1回)

(2)家族介護支援事業

①家族介護者のつどい(かいご泣き笑い会)

日常介護している家族が、勉強会や施設見学・交流会を行うことにより、介護について一人で悩まないことを目的とした事業を実施。

| 開催日 | 内容 | 参加人数(人) |
|--------|----------------------------------|---------|
| 4月21日 | 今年度の年間計画と開催方法について | 17 |
| 5月19日 | 交流会「認知症の家族を介護している現役介護者の体験談を聞く」 | 22 |
| 7月21日 | 意見交換会「若年の男性介護者を迎えて」 | 15 |
| 9月15日 | 交流会「延命治療をせず、親族の看取りをした介護者の体験談を聞く」 | 10 |
| 11月17日 | 勉強会「定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス」について | 17 |

| | | |
|-------|--------------------|----|
| 1月19日 | 講座『介護、生活に活かす 笑いヨガ』 | 18 |
| 2月19日 | 勉強会「気軽に弁護士に相談する方法」 | 16 |

(3) 認知症初期集中支援事業

平成28年度より、大阪市全区の地域包括支援センターに設置（各区1か所）。認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症診療・ケアの経験豊富な医師と、医療・介護福祉の専門職で構成する認知症初期集中支援チームを地域包括支援センターに設置し、ご本人やご家族、民生委員、介護関係職員などからの相談を受け、チーム員が家庭訪問を行う。

適切な医療や介護サービス等に結びついていない事業実施区内に在宅の認知症または認知症の疑いのある方及びその家族を訪問し、アセスメントや受診勧奨、家族サポート等、ひとりひとりの状況に合わせ、支援の方向性を検討し、ご本人やご家族の自立した生活のサポートを、集中的に行う。

○認知症初期集中チーム対応ケース数 25件

○若年性認知症の相談 32件（電話、来館、訪問含む）

(4) 居宅介護支援事業

介護保険による要介護・要支援認定者の申請代行、契約に基づいてケアプランを作成し、サービス事業者との調整を図りながら支援を行なった。

平成28年度 居宅介護ケアプラン作成件数（介護予防プラン含む）

| 月 別 | 作成件数(件) |
|-----|---------|
| 4月 | 63 |
| 5月 | 63 |
| 6月 | 62 |
| 7月 | 69 |
| 8月 | 66 |

| | |
|-----|------|
| 9月 | 66 |
| 10月 | 63 |
| 11月 | 65 |
| 12月 | 64 |
| 1月 | 71 |
| 2月 | 67 |
| 3月 | 67 |
| 合 計 | 786件 |

(5)あんしんさぼーと事業(日常生活自立支援事業)

認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方への日常生活自立支援事業について、地域での利用待機の解消および今後の利用希望追加のニーズにこたえるため、区社協において相談から契約、福祉サービス等利用援助および日常金銭管理・書類等預かりサービスの提供を行なった。

なお、福祉サービス等利用援助、日常金銭管理サービス等の提供にあたっては、一体的に実施した。

①相談件数 3,891件

| 認知症高齢者 | 知的障がい者 | 精神障がい者 | そ の 他 |
|--------|--------|--------|-------|
| 1,935件 | 859件 | 868件 | 229件 |

②サービス利用者数(平成29年3月末現在) 51人

(6)介護予防事業

| 介護予防事業 (複合型) | 実施期間 | 実人員 | 延べ参加人数 |
|-----------------|------------------------|-----|--------|
| | 1クール (H28. 4/14～ 7/21) | 6人 | 91人 |
| | 2クール (H28. 4/27～ 8/3) | 6人 | 90人 |
| | 3クール (H28. 5/9～ 8/22) | 5人 | 76人 |
| | 4クール (H28. 5/20～ 8/26) | 5人 | 51人 |

| | | |
|------------------------------|-----|------|
| 5クール (H28. 6/29～ 9/28) | 5人 | 72人 |
| 6クール (H28. 7/25～ 11/14) | 5人 | 89人 |
| 7クール (H28. 9/7～ 12/14) | 6人 | 103人 |
| 8クール (H28. 9/26～H29. 1/16) | 5人 | 80人 |
| 9クール (H28. 10/7～H29.1/20) | 6人 | 76人 |
| 10クール (H28. 10/20～ H29.2/2) | 5人 | 64人 |
| 11クール (H28. 11/9～ H29.2/22) | 6人 | 78人 |
| 12クール (H28. 11/28～ H29.3/13) | 3人 | 45人 |
| 合 計 | 63人 | 915人 |

| | 実 施 地 域 | 延べ参加人数 | |
|-----------------|---------|--------|-------|
| | | 4～9月 | 10～3月 |
| 閉じこもり等予防事業(通所型) | 上福島 地域 | 48人 | 37人 |
| | 福 島 地域 | 70人 | 54人 |
| | 玉 川 地域 | 28人 | 19人 |
| | 野 田 地域 | 67人 | 51人 |
| | 吉 野 地域 | 38人 | 36人 |
| | 新 家 地域 | 82人 | 72人 |
| | 大 開 地域 | 42人 | 40人 |
| | 鷺 洲 地域 | 47人 | 42人 |
| | 海老江東 地域 | 65人 | 55人 |
| | 海老江西 地域 | 62人 | 49人 |
| | 合 計 | 549人 | 455人 |

(7) デイサービスセンター事業

① 月別利用者数

| | 月末契約人員(人) | 利用人員(人) |
|---------|-----------|---------|
| H28年 4月 | 37 | 264 |
| 5月 | 38 | 261 |
| 6月 | 39 | 292 |

| | | |
|---------|-------|---------|
| 7月 | 37 | 252 |
| 8月 | 37 | 292 |
| 9月 | 36 | 271 |
| 10月 | 34 | 267 |
| 11月 | 34 | 288 |
| 12月 | 34 | 270 |
| H29年 1月 | 36 | 274 |
| 2月 | 36 | 272 |
| 3月 | 36 | 300 |
| 合計 | 434 人 | 3, 303人 |

②年間利用者数

| | |
|--------|----------|
| 契約 実人員 | 45 人 |
| 実施日数 | 242 日／年間 |
| 平均利用者数 | 13.6 人／日 |

③デイサービスセンター運営推進会議の開催

第1回:平成28年9月(書面による活動状況等の報告、評価等)

第2回:平成29年3月27日(月)午後1時30分～2時30分 あいあいセンター

(出席者)利用者本人1名、利用者の家族2名、地域関係者2名(海老江西地区民生委員、海老江西地域福祉コーディネーター)、地域包括支援センター1名、スタッフ3名

(8)介護保険要介護認定・障がい程度区分認定調査事業(受託外関連事業)

介護保険制度にかかる要介護認定調査、自立支援法に基づき程度区分認定調査において介護保険サービスに円滑に繋がるように調査業務をおこない、大阪市社会福祉協

議会との連絡調整を行なった。

(9) 子ども・子育てプラザ事業

①子育て活動支援事業

ア 子育て情報の収集・管理・提供

○講座等の情報を広報紙とホームページにより広く提供

○区保健福祉センターで実施される赤ちゃん広場等に出向き、情報提供

イ 地域の自主的な子育て活動への支援

○地域の子育てサークルへの活動場所の提供、遊具等の貸し出しを実施

ウ 子育て中の親子の支援

子育て中の親子が参加しやすいよう、様々な子育て支援講座を実施。

| 内 容 | 開催回数 | 参加人数 | 内こども(人) |
|---------------------|------|--------|----------|
| ベビーマッサージ | 12回 | 291人 | 148人 |
| ウキウキ身体測定 | 12回 | 981人 | 505人 |
| 英語を楽しもう | 11回 | 1,037人 | 528人 |
| 似顔絵を描いてもらおう | 6回 | 96人 | 49人 |
| 親子リトミック | 5回 | 383人 | 192人 |
| 親子でダンス♪ダンス | 4回 | 253人 | 130人 |
| こいのぼりを作ろう! | 1回 | 57人 | 29人 |
| 七夕おりひめ・ひこ星を作ろう | 1回 | 121人 | 64人 |
| 金魚・スーパーボール遊び | 1回 | 168人 | 90人 |
| おひな様を作ろう | 1回 | 89人 | 47人 |
| 歯のおはなし | 1回 | 82人 | 40人 |
| 親子で避難訓練 | 1回 | 11人 | 6人 |
| すくすく離乳食作り | 2回 | 11人 | (一時保育10) |
| 親子クッキング | 1回 | 25人 | (一時保育3) |
| パパと遊ぼう! ママはヨガでリラックス | 1回 | 21人 | 7人 |
| プレママ・プレパパ講座 | 1回 | 2人 | 0人 |

| | | | |
|-------------------|----|------|----------|
| 音楽コンサート | 2回 | 101人 | 52人 |
| ヒップホップダンス(4歳以上対象) | 2回 | 36人 | 24人 |
| クリスマス会 | 1回 | 214人 | 113人 |
| プラザまつり | 1回 | 228人 | 115人 |
| 子どものほめ方・叱り方 | 1回 | 12人 | (一時保育10) |
| 怒りのコントロールを学ぶ | 1回 | 12人 | (一時保育7) |

エ 児童の健全育成

児童が楽しく参加できるよう、様々な行事を実施。

またつどいの広場の乳幼児に絵本の読み聞かせを行うなどの『こどもボランティア活動』も行った。

開設日：火曜～日曜(祝日・年末年始等を除く)

開設時間：火曜～金曜 …放課後～午後5時

土・日曜、春・夏・冬休み

…午前9時30分～12時、午後1時～午後5時

開設日数：294日／年間

利用人数：5,872人／年間

| 内 容 | 開催回数 | 参加人数 |
|-------------|------|------|
| 卓球の日 | 26回 | 253人 |
| 大なわとびの日 | 11回 | 142人 |
| 卓球大会 | 1回 | 13人 |
| ドッジボール大会 | 1回 | 26人 |
| デザートづくり | 2回 | 31人 |
| プラバン作り | 3回 | 42人 |
| アクアビーズをつくろう | 1回 | 8人 |
| レインボールーム | 1回 | 17人 |
| 新聞紙で遊んじゃおう | 1回 | 15人 |
| 似顔絵を覚えてもらおう | 1回 | 2人 |

| | | |
|------------------|-----|------|
| スーパーボールすくい | 1回 | 8人 |
| クリスマス会 | 1回 | 14人 |
| お正月遊び | 1回 | 4人 |
| 進級お楽しみ会 | 1回 | 5人 |
| 《こどもボランティア活動》 | | |
| おはなしの時間 | 23回 | 373人 |
| バルーンを練習しよう | 1回 | 17人 |
| プラザまつり(ボランティア参加) | 1回 | 17人 |
| プチプチで金魚を作ろう | 1回 | 10人 |
| 一緒に遊ぼう | 1回 | 10人 |

オ 地域関連事業

併設の老人福祉センターと共催で節分工作を実施。

また、囲碁将棋教室と共催で将棋大会と囲碁大会を開催。

| 内 容 | 参加人数 |
|----------|------|
| 将棋大会 | 20人 |
| 囲碁大会 | 13人 |
| 節分工作と豆まき | 92人 |

②ファミリー・サポート・センター事業

大阪市ファミリー・サポート・センター事業の支部業務を実施

平成29年度3月31日現在の会員数

依頼会員 128人

提供会員 50人

両方会員 6人

平成28年度 活動件数

延べ利用回数 : 814件

③地域子育て支援拠点事業(つどい広場事業)

ア 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

0歳～就学前の乳幼児とその保護者が、自由に交流できる場所を提供

開設日：火曜～土曜(祝日・年末年始等を除く)

開設時間：午前9時30分～午後2時

開設日数：243日/年間

利用人数：17,866人(うち乳幼児9,406人)/年間

| 内 容 | 開催回数 | 参加人数 | 内乳幼児 |
|------------|------|------|------|
| 手形のお誕生日カード | 12回 | 377人 | 188人 |
| お誕生日会 | 12回 | 512人 | 268人 |
| ちっち☆ひまわり | 7回 | 460人 | 239人 |
| ブックスタート | 12回 | 297人 | 142人 |

イ 子育て等に関する相談、援助の実施

利用者が相談しやすい関係作りに努め、内容に応じて情報を提供したり、関係機関との連携により利用者の不安が軽減するよう援助。

ウ 地域の子育ての関連情報の提供

保育所・幼稚園・子育てサロン等の情報交換を行い、館内に情報を掲示したり、子育て情報誌「フッピィキッズ」への情報掲載。

エ ブックスタートの実施

福島区図書館とのボランティアによるブックスタート事業を実施。

④福島区において実施する独自事業

ア 子育て情報誌の編集委員会の開催。

子育て情報誌「フッピィキッズ」の編集委員会の開催(3回発行)。

子育てに関する情報提供、「おでかけカレンダー」の発行(年12回)。

イ 子育て支援連絡会における事務局

事務局として子育て支援連絡会を運営し開催(2回)。

子育て支援関係機関の情報交換等。

ウ アウトリーチの実施

プラザ以外の場所で子育て支援講座を実施。

| 内 容 | 開催場所 | 開催回数 | 参加人数 |
|-------|-----------|------|------|
| 出前講座 | 地域の子育てサロン | 19回 | 350人 |
| 出張ひろば | ウイステ | 3回 | 351人 |
| しゃぼん玉 | 福島公園 | 1回 | 130人 |

(10) 老人福祉センター事業

平成30年度を最終年度とする5ヵ年の指定管理の3年度目として、平成28年度は引き続き高齢者一人ひとりが抱える課題や悩みの相談窓口として、あいあいセンターとの連携をはじめ、適切な相談機関につなげることを意識して、諸事業に取り組んだ。

また、新たに「福島区高齢者の生きがいと健康づくり推進事業」を実施し、一般介護予防を目的とした百歳体操をはじめとする健康づくり事業の拡充を図るとともに、区老人クラブ連合会との共催で郊外型ウォーキング「歩こう会」を三重県上野市で開催した。

[事業報告]

①健康づくりと介護予防の促進事業

一般介護予防を目的とする健康づくり事業の拡充として、健康づくりの4講座を年間40回実施するとともに、新規継続として講話に健康体操を交えた健康いきいき教室を年間10回開催。

また、新規として気軽に参加できる健康づくりとして、百歳体操を毎週2回、年間64回実施し1,577人が参加するなど、年々高まる高齢者の健康づくりに対する要望につなぎ目なく応えた。

ア 健康づくり講座

| 事業名 | 開催回数 | 参加人数 | 備考 |
|---------|------|--------|------------|
| ヨガ | 10回 | 280人 | 5～11月 計10回 |
| 健康体操 | 10回 | 262人 | 5～11月 計10回 |
| 座ってビクス | 10回 | 311人 | 5～11月 計10回 |
| ボールDE体操 | 10回 | 201人 | 5～11月 計10回 |
| 合計 | 40回 | 1,054人 | |

イ 健康・体力づくり行事

| 事業名 | 開催回数 | 参加人数 | 備考 |
|----------|------|--------|-----------------|
| 健康いきいき教室 | 10回 | 328人 | 8月の夏季5回、2月の冬季5回 |
| 卓球ひろば | 42回 | 798人 | 第1～第4月曜 |
| 百歳体操 | 64回 | 1,577人 | 毎週火曜、木曜 |
| 合計 | 116回 | 2,703人 | |

②生きがいづくり事業

高齢者の生きがいづくり、健康づくり、社会参加などを支援するために各種講座やイベントを開催するとともに、同好会活動の立ち上げ・日程調整・広報等を支援した。

ア 生きがい探究の機会の提供

健康や情報をテーマに企業2社とタイアップした講座・教室を開催。また、四季を実感する季節行事、一人で楽しめる数独の提供、思い出の写真を展示する常設の写真展等を引き続き実施した。

| 事業名 | 開催回数 | 参加人数 | 備考 |
|-------------|------|------|---------------|
| 「血管年齢測定と講話」 | 1回 | 44人 | 4/17 近畿中央ヤクルト |

| | | | |
|---------------------|-----|------|-------------------|
| 福島消防署見学 | 1回 | 25人 | 6/23 |
| 七夕まつり | 1回 | 234人 | 7/1～7/7 |
| 風鈴まつり | 1回 | 12人 | 7/12～9/30 |
| きらめき教養講座 京都バスツアー | 1回 | 78人 | 3/2 太秦映画村、京都鉄道博物館 |
| 「終の住まい講座」 | 1回 | 39人 | 10/13 オリックスリビング |
| 中央卸売市場見学 | 1回 | 10人 | 12/2 |
| きらめきコンサート | 1回 | 48人 | 12/7 |
| 音楽療法 | 2回 | 136人 | 2/23、3/23 |
| ダイヤモンドエイジ写真展 | 常設 | 52人 | 常設展示 |
| 合 計 | 10回 | 678人 | |

イ サークル活動支援

| 事業名 | 開催回数 | 参加人数 | 備考 |
|-----------------|------|--------|------------------|
| 俳句同好会 | 11回 | 107人 | 第2土曜 |
| 茶道同好会(1部・2部・3部) | 48回 | 209人 | 第1木曜、第3火曜、第2・4火曜 |
| 民謡同好会 | 40回 | 449人 | 第1・3月曜、第2・4木曜 |
| 民踊同好会 | 63回 | 801人 | 第1～4月曜、第1・3木曜 |
| カラオケ同好会(1部・2部) | 68回 | 958人 | 第1～4水曜、第4月曜、火曜 |
| 卓球同好会(1部・2部) | 103回 | 926人 | 第1～4月・火曜・金曜、第1土曜 |
| 映画同好会 | 24回 | 200人 | 第1・3金曜 |
| 銭太鼓同好会 | 24回 | 248人 | 第1・4土曜 |
| フラダンス同好会 | 43回 | 222人 | 第1・3木曜 |
| 絵画同好会 | 24回 | 282人 | 第2・4木曜 |
| 詩吟同好会 | 24回 | 209人 | 第2・3土曜 |
| 区老連コーラス同好会 | 35回 | 1,513人 | 火曜(月3回) |

| | | | |
|---------------------------|------|---------|-----------------|
| 書道同好会 | 14回 | 183人 | 第2月曜 |
| 生花同好会 | 10回 | 86人 | 第4水曜、8月休み |
| 区老連ディスコン同好会 | 28回 | 682人 | 第1・3月曜 |
| シニア元気クラブ (健康体操同好会) | 32回 | 750人 | 第1・3金曜、2回以上の月有り |
| 折り紙同好会 | 25回 | 425人 | 第2水曜、第3土曜 |
| 書道細字同好会 | 13回 | 229人 | 第4月曜 |
| 大正琴同好会 | 23回 | 154人 | 第1・3月曜 |
| ティーセレモニー | 11回 | 31人 | 第3木曜 |
| 初級囲碁教室 | 45回 | 224人 | 第1～4月曜 |
| ゲーム同好会 | 33回 | 396人 | 第2・4木曜 |
| ネット囲碁同好会 | 58回 | 311人 | 第1～4土曜 |
| 笑いヨガ同好会 | 15回 | 206人 | 第2・4木曜 8・12月休み |
| ネット囲碁同好会 | 90回 | 512人 | 第1～4土曜 |
| ふれ愛カフェ (ボランティアグループ喫茶愛) | 2回 | 31人 | 第4火曜 6月から休み |
| 合 計 | 906回 | 10,344人 | |

③相談・情報機能の充実

ア 身近な相談体制づくり

高齢者の身近な相談窓口として、「あいあいセンター」をはじめ、関係機関につなげる機能の充実に努めた。当年度は特に、利用者との情報交換のなかで、相談事項の拾い上げを行い、高齢者に係る問題をテーマにした講座も開催した。

イ 公的情報ならびに健康および生活関連の情報提供

福島区役所、警察署、消防署の公的機関の情報を高齢者に適時、適確に伝えること

を目的に当該年度も引き続き、区長と高齢者の対話集会「きらめきミーティング」の開催をはじめ、防犯・交通安全、防災・防火等の啓発を図る情報提供を行った

④利用者の自律したセンター運営の推進

同好会の代表者による「利用者代表者会」を設けて、利用者自らが文化祭や七夕まつり等の行事に参画し、企画立案ならびに実行まで、利用者が自律的にセンター運営に関われるように努めた。

⑤老人クラブ活動の支援

単位老人クラブの連合組織である区老人クラブ連合会の業務及び同会が実施する行事の準備から運営を支援した。

⑥世代間交流事業

区内の保育所・学校園の子どもと高齢者がふれあう行事、イベントを実施。

| 事業名 | 開催回数 | 参加人数 | 備考 |
|---------------------|------|--------|--------------------------|
| お誕生日会（海老江保育所） | 4回 | 343人 | 6/15、9/21、12/14、 3/15 |
| 盆踊り大会（海老江保育所） | 1回 | 92人 | 8/3 |
| きらめき文化祭（海老江保育所） | 1回 | 508人 | 11/7～11/10 |
| 節分お面づくり（子ども・子育てプラザ） | 1回 | 91人 | 1/28 |
| 合計 | 7回 | 1,034人 | |

⑦合同事業

| 事業名 | 開催回数 | 参加人数 | 備考 |
|------------|------|-------|---------------|
| 教養講座交流発表会 | 1回 | 約600人 | 10/18老人クラブ連合会 |
| 歩こう会（伊賀上野） | 1回 | 83人 | 6/1老人クラブ連合会 |

| | | | |
|-----------------|----|------|------------------|
| 百歳体操説明会 | 2回 | 59人 | 6/29、9/6保健福祉センター |
| 介護ポイント事業登録研修 | 1回 | 14人 | 8/31市社協地域福祉課 |
| 第5回きらめきミーティング | 1回 | 67人 | 2/28福島区役所 |
| 結核検診と講話 | 1回 | 12人 | 5/18大阪市保健所 |
| 港区・福島区親睦ボウリング大会 | 1回 | 8人 | 10/5港区老人福祉センター |
| 合 計 | 8回 | 843人 | |

⑧その他

ア 囲碁将棋大会(同好会主催定例会)

囲 碁： 12回 計336人

将 棋： 12回 計411人

イ カラオケ発表会(カラオケ同好会主催) 2回 計75人

[実績報告]

①サービス向上策

施設運営委員会を通じて地域の意見、要望を広く求めるとともに、同好会等の利用者代表者会議を適宜開催し、利用者の意見をセンター運営に反映させてサービス向上に努めた。

②利用促進策

センター行事等の情報を提供する「センターだより」の内容の充実に努めたのはじめ、市・区社協のホームページ及び区の「広報ふくしま」、区社協の「あいあいだより」を活用した広報活動の充実に努めた。また利用者個々のニーズ把握に努め、行事等の立案、運営に反映する事により、利用率向上に努めた。

③利用者の満足度の把握について

代表者会議を通じて意見を直接収集するとともに、アンケートの適宜実施によってニーズの把握に努めた。

④平等利用の確保について

「施設運営委員会」を開催し、意見・助言を聴取して平等・公正な運営に努めた。

⑤他施設との連携、地域との連携、市民・NPOとの協働等

港区老人福祉センターと共催で、親睦ボウリング大会を開催。また併設の海老江保育所、子ども・子育てプラザをはじめ、福島区食生活改善推進員協議会、福島区健康推進協議会と連携した行事、講座を定期的に行なった。

⑥建物の維持管理の取組みについて

これまでから要望が強かった玄関前の供用駐輪場の安全確保のための改修工事を行い、自転車の将棋倒し等の予防措置を講じた。また日常の清掃時の点検を基本に定期的に館内巡視を実施し、引き続き軽微なものについては職員が修繕を行った。

⑦危機管理について(事故防止等安全対策、火災時緊急時の対応)

当センターは、区役所との協定によって災害時に福祉避難所として供用するため、当該年度は市危機管理室の指導で、南海トラフ地震の発生を想定した災害時対応の研修に参加。1月21日にはあいあいセンターと連携した福祉避難所開設の実地訓練を行なった。

⑧個人情報の保護・情報公開について

「大阪市個人情報保護条例」、「大阪市情報公開条例」をはじめ、当協議会の「個人情報保護規定」により、情報の漏洩や利用証の管理を的確に行い、引き続き個人の権利・利益の侵害防止に努めた。

⑨過去4ヵ年度の利用者数の推移

(人)

| | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|
| 年間利用者(延べ人数) | 27,458 | 30,709 | 32,055 | 31,382 |
| 月平均(延べ人数) | 2,288 | 2,559 | 2,671 | 2,615 |
| 一日平均(延べ人数) | 93.9 | 104.8 | 109.4 | 107.5 |